



松林小だより

平成30年1月31日
学校便り No.12
羽村市立松林小学校

東京都羽村市羽4122-2 電話 042-554-7800

備えあれば憂いなし

副校長 浜中 佳規

先週から寒波による厳しい寒さが続いています。東京では、観測史上48年ぶりの寒波と言われています。東京都内でも、-4℃まで冷え込むなど、記録に残る極寒となりました。大雪の後も寒さが厳しく、各地で寒波による影響が出ています。2月に入ると幾分寒さは和らぐものの、平年より気温が低くなると予報が出ています。松林小学校の学区域においても、羽村市動物園の臨時休園や路面の凍結により、児童の登下校にも影響が出ています。

1月26日(金)、厚生労働省が全国インフルエンザ推計患者数を発表しました。平成30年1月15日(月)～21日(日)の患者数は283万人となり、その前の週に比べて100万人以上増加している事が判明しました。休校や学級・学年閉鎖をしているのは全国で7536施設と50倍増となりました。1医療機関当たりの患者数は51.93人で、統計を取り始めた1999年以降で、最も多くなったことが分かりました。また、東京都内でもインフルエンザ患者が急速に増加したとして、25日(木)にインフルエンザ流行警報が発表されました。松林小学校でもインフルエンザが流行し、1、2年生は、1月26日(金)～29日(月)の四日間、学級閉鎖となりました。今年は、A・B型が同時に混合流行し、病院では、インフルエンザの検査に追われている状況となっています。

この大寒波やインフルエンザ大流行の兆しは、ニュース等で報道されたこともあり、ある程度の予測はできていましたが、我々の想像をはるかに超えた事態となりました。このような事態が起きてから慌てないように、準備をしておくことが大切だと感じました。

備えあれば憂いなし(そなえあればうれいなし)ということわざがあります。意味を調べてみると、「常日頃から準備をしっかりしていれば、突然何かがあっても心配することはないこと」と記されています。

学校や家庭でも、常日頃から準備できることはたくさんあります。例えば、望ましい基本的な生活習慣(食事、睡眠・休養、適度な運動等)を子供たちに身に付けさせておくことが大切であると感じます。具体的には、手洗い・うがいを習慣付けておくこと、栄養を考え、好き嫌いをしないで食べる努力をすること、早寝・早起きを心がけること等、日頃からできることはたくさんあります。また、季節や天候に応じて衣服を調整すること、マスクを常に用意しておくこと、雨や雪の日は、着替えを用意しておくこと、雨具や手袋を用意しておく等、他にもたくさんの方が挙げられます。我々大人は、先を見通し必要な情報を子供たちに伝えていく大切な役割を担っているとも言えます。

まだまだ寒い日が続きます。松林小学校の子供たちには、この厳しい寒さやインフルエンザの流行に負けず、毎日元気に登校してほしいです。そして、現学年のまとめの学習をしっかり行い、力を付けて進級してほしいと願っています。保護者・地域の皆様、引き続き学校教育へのご協力をお願いいたします。